

軽井沢そのすべてが学びのフィールド 長野県軽井沢高等学校「3つの方針」

校訓「誠実・勤勉であれ」～軽井沢高等学校のあゆみ～

- ◎80年にわたり、地域を支える人材を送り出してきました。【ローカルな高校】
- ◎軽井沢は、国内外多くの人々に愛されてきた国際親善文化観光都市です。【グローバルな環境】
- ◎県下初の英語科設置後、普通科コース制、普通科総合選択制、デュアルシステム、そして令和4年度から「普通科単位制」の導入と時代に合わせてカリキュラムを深化させてきました。【学びのフロンティア】

【生徒育成方針】

- ①地域に根差し、自立して主体的に学び続ける生徒を育成します。
- ②多様な価値観を受容し、他者と関わりながら自立して生きていける生徒を育成します。

自立に必要な9つのキーワード

創造力／考える力／責任／多様性／協働／自己理解／自己決定／行動力／表現力

【教育課程編成・実施方針】

①自分らしく生きるために自らの学びをデザインできる仕組み

- ・1年次に全員が学ぶ科目「未来」では、自己理解や他者理解のためのワークで自己対話を重ね、自らの可能性や将来の進路についてじっくりと考えます。
- ・2、3年次には、興味関心・適性・希望する進路に応じた、多くの選択科目を設定しました。自分だけの時間割で学ぶことができます。
- ・一部の選択授業では、学年の枠を越え、2・3年次生が同じ教室で学習します。
- ・卒業に必要な単位数を74単位以上とすることで、授業がない時間で自分の学びを広げ、深めることもできます。

②地域と連携した探究的な学び

- ・答えのない課題に向き合い、乗り越えていくための見方・考え方や手法を学びます。
- ・地元企業と連携した就業体験や長期インターンシップなど様々な場面において、地域の資源を活用した「軽井沢ならではの学び」を行います。
- ・「総合的な探究の時間」や「軽井沢キャリアプログラム」などの授業では、地域や人と直接つながり、様々な出会いや経験を通して探究的な学びを深めます。
- ・公設塾「軽井沢町学習センター」をはじめ、7校連携協定を交わした町内教育機関、ほか様々な教育関連団体と協働的で探究的な学びをすすめます。

③ICTの活用による教科の枠を越えた学び

- ・1人1台タブレットにより学びの可能性を広げ、教科の枠にとらわれない資質・能力を高めるための学びができる環境を整えます。
- ・ICTの活用により個に応じた学びを実践し、基礎学力の定着を図るとともに、自己肯定感を醸成します。

【生徒募集方針】…こんな皆さんを待っています！

- 好奇心が旺盛で、軽井沢での学びに興味・関心を抱くひと
- 中学時代までに様々な活動に参加し、その体験を通じて周りの役に立ちたいと考えているひと
- 周りの人を思いやり、協力できるひと